

3月に左足の第5中足骨折の事故をして1ヵ月後にギプスがとれ、その後はリハビリをしていた。5月の連休はそれでも雪や森が見たくて、歩かなくても雪が見られる西吾妻連峰にした。

天気予報は悪天を告げていた。リフトがあるからそこまでと考え出かけた。予報通り悪天で天元台のスキー場は吹雪だった。5月だというのにである。去年の連休にも尾瀬で吹雪かれた。何処かで事故が起こるだろうと想像した。最後のリフトは強風のため動いていないので、踏まれていないスキー場を歩いた。雪はますます激しくなるが、スキー場なので迷うことはない。登って行くと、歩きの1パーティ2人が下りて来る。もう1パーティ3人は山スキーだが明月荘の手前の辺りで分からず引き返して来たと言う、気をつけて下さい、と励され別れた。

吹雪になり視界もないので、最終リフトから少し上がった所で、ツェルトを張った。1920m辺りで、2:20頃だ。不安のない雪の上でのんびりした時間を過ごすのは快い。雪が見られたばかりでなく、吹雪というおまけつきだ。止みそうにもなかった。

5/3 曇りガス

夜通し吹雪だった。ツェルトが雪の重みでつぶされそうになったが、内側から押しておいただけだ。朝には天気は小雪になってきたようだ。

6時過ぎに出発した。前日の雪でラッセルがある。スキーでも膝くらいまでもくる。中大顛まで上がってみたが、視界がない。そこから西吾妻の方は平らのようだ。の方は緩やかな登りだ。天気は回復して来るようだが視界がなく、山の上だからガスははれないかもしくないと考えて、さっさと下山と決めた。

スキーで下るとひと滑りだ。まだ早いゲレンデにパトロールが上がって来て、昨日の人ですね、と言うので挨拶をして視界がないので下山します、と報告をして下りた。

スキー場で遊ぶことも考えたが、それよりも温泉に入って込まないうちに帰ることにし白布温泉に入る。連休で混でいたせいか、2軒目で入ることができた。湯治場を旅館にした感じだが、温泉自体はいい所だ。久しぶりに自然の中で泊まったこと、温泉に満足して旅費が少し高かったがよしとした。

タイム； 5/2 吹雪 ロープーウェー上12:20-リフト降りる

12:50-最終リフト 1:50/2:00-ツェルト 2:20

5/3 曇り テン場 6:10- 中大顛 6:25- 25-スキー場下

6:50